

# 今こそ憲法を学び、守り、生かそう あらゆる改憲策動を力合わせて阻止しましょう！

## 憲法会議が総選挙の結果について声明

憲法会議は12月22日付で「あらゆる改憲策動の阻止のため、憲法を学び、守り、生かす国民的世論と運動を広げよう」と題する「声明」を発表し、運動の拡大を呼びかけました。12月20日に開いた憲法会議担当常任幹事会での情勢討議を踏まえて発したものです。

【別項に声明全文】

【声明】 あらゆる改憲策動の阻止のため、憲法を学び、守り、生かす国民的世論と運動を広げよう —総選挙結果をふまえて—

2012年12月22日

憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

1. 12月16日の衆議院総選挙の結果、自公政権が復活する見込みです。

自民党の多数の議席獲得は、消費税増税や原発問題などでの民主党の裏切りへの国民の怒りによるものであり、自民党への期待とはいえません。自民党などの公約は、アメリカいなり・財界中心の立場をよりあらわにしたもので、これを実行するなら国民との矛盾を更に深刻にします。

同時に自民党の議席は、民意を歪める現行選挙制度による「虚構の多数」ともいうべきものです。自民党は小選挙区では43%の得票（しかも前回比165万票の減）で237議席（占有率79%）を得ました。衆議院全体の6割超となった自民党の議席は、対有権者では小選挙区24%、比例代表では15%に過ぎません。

小選挙区制を廃止し、民意を反映し、民主主義の根幹であり、1票の平等を保障する選挙制度への抜本的改革を改めて求め、新政権がねらう比例定数削減など決して許してはなりません。

2. 憲法を正面から否定・破壊する策動の規模と内容は、かつてない深刻な状況です。自民党は選挙公約に、国防軍の創設、基本的人権の制限など憲法の原則を根本的に転換する「日本国憲法改正草案」を中心にすえ、改憲前にも集団的自衛権行使を可能とし、9条を事実上破壊する「国家安全保障基本法案制定」などを掲げました。安倍晋三自民党総裁は選挙後、いくつかの党の賛同を見込み、「改憲の慣れ」をもくろんで、当面改憲手続き・発議要件を定めた96条の改定に着手することを表明しています。並行して、「日米防衛協力の指針」を改

定し、集団的自衛権行使を可能にすることを急いでいます。来夏、参院での改憲勢力の多数化を図り、「9条改正」をねらっていることは明らかです。改憲論議を否定しない公明党、自主憲法制定や核武装を是とする維新の会や集団的自衛権行使を主張するみんなの党など、これに同調する改憲勢力の存在も無視できません。

自民、維新、みんなの3党の衆議院での議席は76.9%にも及びます。また新議員の憲法への態度は、「憲法改正賛成89%（反対6%）、集団的自衛権行使賛成79%（反対15%）」（12/18「朝日」）という現状です。

3. 改憲・9条破壊の公約は、国民の信任を得たものではありません。自民党など改憲勢力は、国民の反撃を恐れて、選挙中の論戦でこぞって発言を回避しました。

自民党と「改憲連合」が、改憲・9条破壊をもし強行しようとするれば、国内だけでなく、アジアと世界の世論とも真っ向から衝突します。国民の多数は、平和を願い、戦後続いた自民党型政治が憲法を敵視してきたことを見抜き、改憲反対・憲法を生かすことを切実に望んでいます。アジアと世界のマスコミは選挙後、「9条改憲」への懸念と警戒を繰り返し報道しています。

改憲反対の国民世論が多数である限り、改憲を許すことはありません。

4. 憲法会議は、1965年結成の原点とそれ以来のたたかい、2004年に発足した九条の会の活動が世論を喚起し、改憲勢力を追い詰めた経験を想起し、広範な政党や団体、個人などとともに壮大な世論と運動、国民的共同を構築し、たたかうことを呼びかけます。

憲法会議は、憲法を学びあい、集団的自衛権行使＝9条への攻撃・破壊などの解釈改憲、明文改憲のあらゆる策動を許さず、9条、25条をはじめとする憲法の条文と精神を完全に生かし、実現するため、先頭に立ち、全力でたたかう決意を表明します。

以上

## 「選挙制度がおかしい！！」青年デモ 年末28日京都で

10月、大阪・御堂筋で「小選挙区制おかしいぞ！御堂筋デモ」をおこなった大阪の青年グループが、総選挙の結果を見て、「自民党の少ない得票でこの議席は何だ？」「何で『圧勝』？」と年末にデモ（「小選挙区制おかしいぞ！デモ in 京都」）を行ないます。

今回は京都市役所前12月28日（金）午後3時集合、円山公園までのデモです。主催者の青年たちは参加を呼びかけています。【チラシのテキストデータは別項、チラシは別掲】

小選挙区制おかしいぞ！デモ in 京都  
（選挙制度がおかしいぞ！デモ PART II）

日時：12月28日（金）15：00～  
集合：京都市役所前  
地下鉄「京都市役所前」駅下車すぐ

解散：円山公園（阪急「河原町」、京阪「祇園四条」駅が最寄り）

楽器、鳴り物、風船、しゃぼん玉などの持参大歓迎！

—なんかヘンだぞ！？日本の選挙制度

12月16日投票で行われた衆院選。自民党は3割（比例）の得票で全議席の61%にあたる294議席を獲得し、「圧勝」と報じられました。

ところが自民の得票は政権を失った前回より219万票も減らしているのです。

—原因は小選挙区制にあり

得票を減らした自民が「圧勝」したのは、選挙区で相対的に優位になれば1票差でも議席を得る小選挙区制の弊害に他なりません。

—比例削減で原発も増税もやり放題！？

さらに得票が正確に議席に反映される比例代表の議員定数削減がねらわれています。

比例削減が強行されれば、自民単独で3分の2を超える議席を独占する可能性も！

原発推進など市民の中で反対が多数でも、一党で強行できるようになりかねません。

一方、比例中心に議席を獲得している脱原発の政党は国会から排除されてしまいます。

—民意が反映される選挙制度に！

今、必要なのは小選挙区制をやめて、民意を正確に反映する選挙制度にすることです。

「原発いらない」「増税やめて」など、私たちの思いがストレートに反映される選挙制度を求めて、年末の京都を歩きましょう！

---

## 『月刊憲法運動』普及版(憲法講座の記録)を緊急出版

### 憲法会議

憲法が重大争点となっている衆院選挙で、「2012年憲法講座」(10月開催)での3つの講演(穀田恵二国対委員長・国会報告、浦田一郎明治大教授「改憲論の現段階」、西谷敏大阪市大名誉教授「橋下・維新の会」)が話題になっています。

憲法会議はこのほど、『月刊憲法運動』12月号普及版を緊急出版しました。頒価200円(送料別)。3講演、開・閉会あいさつ、憲法の眼、資料などを収録しています。